

科目名	地域産業論	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済学科	□必修	■選択
			学科	□必修	□選択
英文表記	Regional industry theory	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年		
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中		
ふりがな	ふかさわ やすお	実務家教員 担当科目		修得単位	2単位
担当者名	深澤 太郎	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	副題 「日本の労働生産性はなぜ停滞したのか？」日本国全体は先進国の中で相対的に衰退している中、ある地域だけが発展するためには特殊な状況が必要となる。全体的に労働力人口が実質的に減少に向かう状況では、イノベーションに期待せざるを得ない。その狭い道筋を探るのが、本講座の目的である。				
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 1. 実質的に労働力人口の減少が予想され、閉塞感漂う日本において、求められる産業政策が理解できる。また、国全体は明るい展望は開けなくても、個人としてどう生きるかが理解できる。 2. 日本経済新聞の産業関係の記事の理解度が大幅に上昇し、社会人として求められる水準に届く。				
授業概要	受講者数にも左右されるが、理想としては、事前に教科書・配布資料等に目を通してもらい、授業中には可能な限り、各項目についての質問を行う。経済指標等のデータに基づき論理を確認し、その上で自ら考える姿勢を身につけてもらいたい。				
授業計画 (授業において配布された資料は、すべて試験の範囲に含まれる)					
第1回	日本の現状と立ち位置 配布資料				
第2回	労働生産性の確認と経済学上の成長の源泉の確認(1) 配布資料				
第3回	日本が抱える大きな重荷！激減する総人口と消滅する地方都市 配布資料				
第4回	経済学上の成長の源泉の確認(2) 配布資料				
第5回	劣化する日本の製造業(1) 配布資料				
第6回	劣化する日本の製造業(2) 配布資料				
第7回	イノベーションのジレンマ(1)				
第8回	中間レポート(持ち込み可)				
第9回	イノベーションのジレンマ(2)				
第10回	イノベーションのジレンマ(3)				
第11回	イノベーションのジレンマ(4)				
第12回	日本企業と社会の問題と日本の財政・金融政策の問題 配布資料				
第13回	日本の社会保険料の問題と労働の固定化 配布資料				
第14回	社会の問題につながる人口減少の要因分析 虐待された若者 配布資料				
第15回	再度 「日本の労働生産性はなぜ停滞したのか？」を考える 配布資料				
第16回	定期試験(持ち込み不可)、期末テスト(持ち込み可)				
授業時間外の学習	資料を事前に配布するので、前もって通読し、疑問点があれば質問すること(約0.5~1時間)。確認のための復習をすること(0.5~1時間)。				
履修条件	テキストを購入してください。また、適宜資料を配布しますが、欠席した学生は、後日研究室ま				

受講のルール	で受け取りに来て下さい。 受講者の理解度等を考慮して、シラバスを変更する場合があります。 経済成長論を履修済みか、同時に履修することが望ましい。
テキスト	「イノベーターノジレンマ」の経済学的解明 伊神満著 日経BP社（第7、9～11回の授業で使います）
参考文献・資料	日本経済と財政危機の本質シリーズ3R「日本が抱える大きな重荷！激減する総人口と消滅する地方都市」深澤泰郎、同シリーズ10「劣化する日本の製造業」深澤泰郎
成績評価の方法	中間レポート(40%)、定期試験(10%)、期末レポート(40%)、その他(10%) 出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	火曜日 13:00～14:30 14:40～16:10 金曜日 13:00～14:30 14:40～16:10
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	先進国の中で、相対的に衰退する日本のとるべき方向が、見つかるかもしれません。希望をもって一緒に勉強しましょう。